

Light It Up Blue

MUKOJO! 2023 武庫女を青く照らそう!

4月2日は世界自閉症啓発デーと国連で定められています。その日から1週間を発達障害啓発週間とし、Light It Up Blue (LIUB)として世界中の主なランドマークが青くライトアップされます。武庫川女子大学では、2019年に学院80周年記念行事として第1回を開催、以後毎年、青のライトアップと市民公開講座を開催しています。

今回の市民公開講座のテーマは、限局性学習障害・発達性ディスレクシアです。学びのプロセスに特異性がある子ども達には、その子にあった教育と支援、合理的配慮が必要です。子ども達の学ぶ意欲、学ぶ力を支えるために、私達ができることは何か、みなさまと一緒に考えていく機会にしたいと思っています。多数のご参加をお待ちしております。



中央キャンパス 研究所棟

ブルーライトアップ

4月2日(日) ~ 8日(土)

会場: 中央キャンパス 研究所棟
研究所棟がブルーにライトアップされます。

市民公開講座

限局性学習障害・ 発達性ディスレクシアの理解と支援

3月25日(土)

入場無料(会場定員100名) 要事前申込
13:30~16:30(受付 12:30より)
会場: 中央キャンパス 公江記念ホール

ハイブリッド(会場+Zoomによるオンライン・ライブ配信)により開催予定です。
(新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催のみとなる可能性があります)

申込フォームはこちら ▶▶▶



必要事項を入力し、送信してください。
受付確認メールを送信いたします。
なお、いただいた情報は、今回の市民講座のご案内にのみ使用し、厳重に管理いたします。

講演

限局性学習障害・ 発達性ディスレクシアの基本的な理解

中井 昭夫 教授

武庫川女子大学教育研究所/
大学院 臨床教育学研究科/
子ども発達科学研究センター

英語の読み書き困難児童生徒の 理解と支援

村上 加代子 准教授

武庫川女子大学教育学部

質疑応答

主催 | 武庫川女子大学教育研究所 / 子ども発達科学研究センター

お問い合わせ: 武庫川女子大学 教育研究所 MAIL: rinkyo@mukogawa-u.ac.jp



中井 昭夫 教授

武庫川女子大学教育研究所/大学院 臨床教育学研究科/
子ども発達科学研究センター

医学博士、小児科専門医、子どものこころ専門医、公認心理師、臨床発達心理士。1986年福井医科大学卒業、1991年 同大学院博士課程修了。福井医科大学小児科助教、福井県こども療育センター主任医長、福井大学「子どものこころの発達研究センター」特命准教授、兵庫県立「子どもの睡眠と発達医療センター」副センター長などを経て、2018年より現職。日本発達神経学会、日本子ども学会、日本DCD学会、NPO法人AOZORA福井、一般社団法人 笑壺研(ETUBOLAB)の各理事等を務める。主な著書に『発達障害児支援とアセスメントのガイドライン』(2014 金子書房)『いま、小児科医に必要な実践臨床小児睡眠医学』(2015 診断と治療社:監修)『発達性協調運動障-不器用さのある子どもの理解と支援-』(2019 金子書房)、『発達性協調運動障(DCD)の理解と支援』(2019 丸善出版:監修)『イラストでわかるDCDの子どものサポートガイド~不器用さのある子の「できた」が増える134のヒントと45の知識~』(2022 合同出版)など多数。



村上 加代子 准教授

武庫川女子大学教育学部

2009年 神戸山手短期大学キャリア・コミュニケーション学科/現代生活学科 准教授、2019年 甲南女子大学人間科学部 准教授等を経て、2022年より現職。英語教育での読み書きの躓きを抱える児童生徒に関する研究・教材開発・指導を行っている。英語教育ユニバーサルデザイン研究学会 会長、LEK英語読み書き学習支援主宰 LEK合同会社代表取締役 教育アドバイザー、特別支援士スーパーバイザー(S.E.N.S.-SV)、一般社団法人日本LD学会 編集委員。主な著書に『個に応じた英語指導をめざして』(くろしお出版、2021)、『『ビジョントレーニングでアルファベットはじめてドリル』(東京書籍、2021)、『読み書きの苦手な子どもたちへの英単語指導ワーク』(明治図書、2018)、『目指せ!英語のユニバーサルデザイン授業』(学研プラス、2019)ほか、講演、研修、雑誌連載など多数。